

地方議会改革・私の考え

～時代に対応した地方議会への変革～

松戸市議会議員 末松ひろと

1. 地方議会の現状に対する問題認識

- ア) 「執行機関の監視機能」と「政策立案機能」が十分果たされているか。
- イ) 議会活動が先例主義、形式主義にとらわれて形骸化していないか。
- ウ) 議会が住民に対して開かれた存在になっているか。

2. 課題と対応策

- ア) 「執行機関の監視機能」と「政策立案機能」が十分果たされているか。
 - a. 議会事務局職員の行政(市長)部局からの独立性の確保(現在は市長部局と一体人事)
 - b. 議会選出監査委員の任期の複数年化(現在は慣例で一年交代)
 - c. 常任委員会の通年開催と日常的な情報の共有(現在は主に議会開会中の議案等の審議のみ)
 - d. 政策中心の会派活動
 - e. 議会事務局の調査機能(政策立案補助機能)の充実
 - f. 政務調査費の充実と用途の緩和(議員の使用責任により用途を公開)
- イ) 議会活動が先例主義、形式主義にとらわれて形骸化していないか。
 - a. 議会内人事と任期(現在は慣例で一年交代。当選回数による選出)
 - b. 議会運営委員会の積極的活用(柔軟な議会運営ルールの創設)
 - c. 議会内委員会の柔軟な運営(ア-C参照)
 - d. 議会内(委員会)活動予算の確保(現在は主に視察旅費のみ)
 - e. 議会前の行政部局による「ご説明」「お伺い」の廃止
 - f. 一問一答式の本会議質問(現在は何項目あってもまとめて質問、まとめて答弁)
 - g. 議員同士による政策議論の場の創出(現在は主に行政部局に対する質疑の場)
- ウ) 議会が住民に対して開かれた存在になっているか。
 - a. 議会報編集の工夫
 - b. 議会資料のデータベース化
 - c. インターネットを活用した議会広報
 - d. テレビ、ラジオ等による議会中継(費用対効果の問題あり)
 - e. 請願陳情における意見陳述制度の活用
 - f. 公聴会、討論会等の開催(必要とされるテーマによる)
 - g. 夜間、休日の会議開催(費用対効果の問題あり)